

製品名: Na⁺ CP タイプ VII α ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab14376

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間、猿
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	200kDa

抗原情報

遺伝子名	SCN7A
別名	SCN7A; SCN6A; Sodium channel protein type 7 subunit alpha; Putative voltage-gated sodium channel subunit alpha Nax; Sodium channel protein cardiac and skeletal muscle subunit alpha; Sodium channel protein type VII subunit alpha
遺伝子 ID	6332.0
SwissProt ID	Q01118
免疫原	抗血清はヒト SCN7A 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 771-820

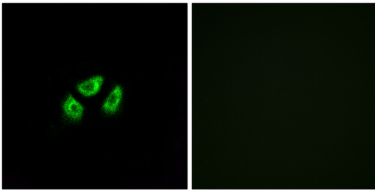
背景

この遺伝子は、多くの電位依存性ナトリウムチャンネルタンパク質の1つをコードしています。活動電位時にニューロンと筋肉が適切に機能するために、電位依存性ナトリウムチャンネルは膜の脱分極を促すナトリウムイオンの拡散を制御します。このナトリウムチャンネルタンパク質にはいくつかの非定型的な特性があり、ヒトとマウスのタンパク質間の類似性は、他の相同ナトリウムチャンネルペアと比較して低いです。また、電位変化を感知するS4セグメントは、他のナトリウムチャンネルと比較して正電荷残基が少なく、ドメイン4は他のナトリウムチャンネルタンパク質と比較してアルギニン残基とリジン残基が少ないです。選択的スプライシングを受けた転写バリエーションがいくつか存在しますが、それら全ての完全長の性質は未だ不明です。[RefSeq 提供、2011年12月]、ドメイン：この配列は4つの内部反復配列を含み、それぞれが5つの疎水性セグメント（S1、S2、S3、S5、S6）と1つの正電荷セグメント（S4）で構成されています。S4セグメントはおそらく電圧センサーであり、3つおきに正電荷を帯びた一連のアミノ酸を特徴とする。機能：興奮性膜の電圧依存性ナトリウムイオン透過性を媒介する。膜を挟んだ電圧差に応じて開状態または閉状態をとることで、このタンパク質はナトリウム選択性チャンネルを形成し、Na(+)イオンは電気化学的勾配に従ってこのチャンネルを通過する。類似性：ナトリウムチャンネルファミリーに属する。組織特異性：心臓および子宮。、

研究分野

-

画像データ



SCN7A 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。